

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 2024年 3月 1日

事業所名 Ikutas kids

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		基準に基づいて確保しています。	---
	2	職員の配置数は適切である	○		基準に基づいて支援にあっています。	---
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○		療育の部屋について。ひとりひとりに合わせて、使うものや使い方を調整はしています。館内は階段や段差等がありますので、ご不便をおかけしております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			---
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○		日々気付いたことを協議しながら改善を図っています。具体的に目標設定などができるように努めていければと考えています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			いつもアンケートにご協力頂きましてありがとうございます。今後もよりよい施設運営に反映できるように努めていきます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			これまでと同様、北区さつき会のホームページ(http://satukihoikuen.net/joho.htm)内の「情報公開」にUPしています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は受けておりません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		研修の情報については、回覧などを通じて職員に周知しています。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			多職種連携によるアセスメントとご本人や保護者の方のニーズを反映した計画を立てているように努めていきます。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○		新版K式発達検査やWISCなどの検査を取られたときには、情報提供をして頂くなどのご協力をお願いしております。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている		○	地域支援については、必要性に応じて適切に計画に反映できていないところもあるかと思っておりますので、少しずつ反映できるように努めてまいります。	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		当事業所は療育を個別で行っているため、療育内容は担当が立案し、実施しています。内容が固定化しないように、日々職員間で情報共有を行い、プログラムの充実を図っています。	集団活動については、必要性に応じて、ペアや小集団などの取り組みを少しずつ行いはじめています。ただ当事業所内では補いきれないときには、他事業所や他機関に相談するなど連携は心がけています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している		○	形式的な朝礼や夕礼は行っていませんが、各スタッフごとで支援の進め方や気付きなど意見交換は行っており、それを日々の支援に活かしています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○			
関係機関や保護者との連携	21	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		可能な限り、担当スタッフが参加できるような体制づくりを心がけています。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○		他機関との連携を少しずつ進めていけるように、見学希望に応じていくなど開かれた施設運営を目指していきます。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	-	-	---	---
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	-	-	---	---
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		保護者からのご依頼やご要望のある場合には、会議の参加や情報共有などの連携を図っております。ただ当事業所が主体となつて積極的に情報共有などの連携までにはたどり着いていない状況です。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		外部の講座には積極的に参加し、所内での情報共有を行っています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		左記の機会はつくれていません。少しずつそのような機会がつかれるよう努めていければと考えています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		療育の前後に、各担当と直接お話しただけのため、日々の生活の中での困りごとや気になることなどを共有し、いっしょに考えていくスタンスを続けてまいります。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		○			
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○		定期的な相談の時間は設けておりませんが、ご要望があれば適宜対応させていただきます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		一昨年度より、保護者同士の関わりが持てるように予めテーマを設定し、オンラインサロンを開催しております。また、Ikutas kids radioもYoutubeで絶賛限定配信中です。ぜひご視聴いただければ幸いです。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している		○		引き続き、相談などの申し入れがございましたら随時対応できるように努めてまいります。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		○		イベントの開催ができていない実情です。そのような機会を設けていけるように努めてまいります。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		イベントの開催ができていない実情です。そのような機会を設けていけるように努めてまいります。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		年に数回程度、スタッフだけではなくですが、不審者や非常災害など緊急避難の訓練や対応の読み合わせなどを取り組んでいけるよう努めてまいります。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○		ご利用される前の面談のなかで、お話しをお聞きし、また利用者調査表のご記入をお願いするを通し確認しております。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	-	-	---	---
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		なかなか進んでいない実情です。日々蓄積していけるように努めてまいります。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		年に1回は虐待に関する外部研修を受講し、その内容を周知、徹底するように努めています。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	-	-	---	---

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。